

令和4年度第1回都市計画審議会

1. 開催日時 令和4年12月21日（水曜日） 開会時間：午後2時00分
閉会時間：午後4時00分
2. 開催場所 可児市役所5階 全員協議会室
3. 出席委員 都市計画審議会 会長 伊藤 栄一
都市計画審議会 委員 倉内 文孝
黒見 敏丈
奥村 新五
亀谷 光
中野 喜一
渡辺 仁美
加藤 幸治
谷口 新二
菱川 幸夫
渡邊 晶哉
4. 事務局 市長 冨田 成輝
建設部長 林 宏次
都市計画課長 日比野 聡
都市計画課都市政策係 松浦 あかね
5. 説明者 企業誘致課長 小池 祐功
企業誘致課企業誘致係長 山口 智司
6. 議案 報告第1号 可児市都市計画審議会について
報告第2号 可児市の都市計画について
協議第1号 第二次可児市都市計画マスタープランの改訂について
7. 会議内容 以下のとおり

	【都市計画審議会 開会 午後2時00分】
事務局	開会を宣言
市長	開会に際しあいさつ
事務局	資料確認、本日の会議運営について説明し進行を会長へ引き継ぐ。
伊藤会長	それでは、報告第1号について事務局より説明願う。
事務局	【報告第1号】 説明資料1に基づき説明
伊藤会長	何かご質問等はないか。 それでは、報告第2号について事務局より説明願う。
事務局	【報告第2号】 説明資料2に基づき説明
伊藤会長	ご質問等はないか。
菱川委員	<p>都市計画には土地利用や都市施設の整備、市街地開発事業などがあるとの説明であった。私は農業委員会の代表を務めているが、農業委員会の中でいつも出る問題として、可児市が農業で生活を成り立たせる人の数が少なくなっているのが現状である。</p> <p>実際にお米を作っても儲からない時代。農振地域があるが、農振除外をするにあたり、不動産業者により分譲地が点々と作られている。点々と作る前に農振除外について一度考えていただきたい。</p> <p>市内中心部はお店などの商業施設が並んでいるが、少し離れると農振地域で大きな施設が建てられない。農振地域だから事業者が来ることができない、可児市の農業や緑を守る、ということばかりでなく、全体的な事を考えて、開発できるところは開発するようなプランを立てたほうがいいと思う。</p> <p>農地を守らないといけない立場で真逆のことを言っているが、可児市の場合はプランが必要だと思う。</p> <p>インターチェンジの工業団地の造成も必要なことであると思うが、もう少し生活に密着した土地開発、土地利用を考えていただきたい。</p>

伊藤会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>可児市の農業をどうしていくのか、どう考えていくのか、基本的な所に立ち返りながら農業振興地域という規制のかかっている地域が分断的に開発されるのではなく、まとまった形で開発するところは開発する、残すところは残すといった色分けができるように、仕組みや在り方について議論をして欲しいということか。</p> <p>ご意見について、事務局からあるか。</p>
日比野都市計画課長	<p>貴重なご意見をありがとうございます。</p> <p>お話しの中にあつたように、実際のところは虫食いのような状態で開発が進んでいるという現状がある。場当たりのではなく計画的にまとまった形で農業との調和を図りながら、都市生活を進めていくという、大変重大、重要な仕事になるが、進めていければと考えています。</p>
伊藤会長	<p>今後の様々な土地利用について、ご配慮いただきながら進めていただきたい。</p>
亀谷委員	<p>昔の農振解除の条件は農地を耕作してそこに住宅を建てる際、土地を持っている方のその親族や関連する方など条件付きの解除があつたが、今の解除の状況はどの程度になっているか。</p>
日比野都市計画課長	<p>大変申し訳ないが、最新の状況や今の条件など、しっかり把握できていない。お話しにあつたように、子供さんが家を作るなどそういったことでの除外は把握している。</p>
渡辺(仁)委員	<p>市の農業政策について一般質問をさせていただいたばかり。</p> <p>可児市の特徴として、大きな農場経営をされているという所よりも小さな畑で野菜を作っているというのが現状である。</p> <p>若い子育て世代の方々から多くいただく声として、オーガニックを可児市で取り入れていくことがあり、提案させていただいている。</p> <p>地産地消が一番やりやすく、近くにあるというのが可児市の農業形態である。この場で申し上げるのは違うかと思うが、農振用地の使い方について話題が出たため申し上げた。</p> <p>ミニ開発が多く、もったいない土地の利用の仕方がある点については、この審議会でも今後取り上げていく議題ではないかと思う。</p>

伊藤会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>今農業の話題が出ている。都市計画審議会の所管から少し外れるところかもしれないが、都市計画という言葉を広くとらえれば、農業のあり方も含めて、可児のまちの在りようを議論していくことはとても大事な事である。諮問事項など法定の職掌に関わる話ではないかもしれないが、ぜひ総合的な見地で審議会に意見をいただき、都市計画にも反映できるようご協力いただきたい。</p> <p>事務局にあっても都市計画だけではなく、他の部局との調整もあると思うが、考慮していただきながら進め、意見を参考にさせていただきたい。</p>
菱川委員	<p>道路の計画について、国道 248 号はアーラまでは 4 車線になっているが、そこから新太田橋に向かい美濃加茂市の高架を過ぎるまでは 2 車線になっている。この道路事業は計画の中にはないのか。</p>
林建設部長	<p>計画はマクロ的には入る。今渡の交差点で国道 248 号と国道 21 号が交差している。国道 21 号は国の管理、国道 248 号は岐阜県の管理になる。市が 4 車線にしようと言って作れるものではない。市としては常日頃から要望を出しているところである。</p> <p>ご指摘のように片側 2 車線から 1 車線、また 2 車線となると、必ず渋滞が起き、当然事故も起きる。県内でも多い箇所だと聞いている。解消するためには早く事業に着手していただき、やってほしいというところであるが、橋梁部分(橋、高架部分)は平面道路よりも事業費がかなり割高になるということで慎重に対応しているという事である。</p>
菱川委員	<p>このような状態はずっと続いている。あの道路は朝晩の通勤ラッシュで非常に混み合う道路である。県や国の関係があることは分かっているが、その後の進展はないのか。</p>
林建設部長	<p>今の状況を見ると、片側 2 車線化していないということは、事業化されていないという事である。可児市においてはアーラの部分や今インターの部分までは片側 2 車線化に着手して、部分的に片側 2 車線化している。全ての道路が片側 2 車線化してほしいということは市としても要望し続けているためご理解いただきたい。</p>

伊藤会長	<p>引き続き働きかけをお願いしたいという事かと思う。</p> <p>この件についてはこれまでとし、協議事項に入る。</p> <p>協議事項第1号「第二次可児市都市計画マスタープランの改訂について」を事務局より説明願う。</p>
事務局 企業誘致課	<p>【協議第1号】協議資料1～4に基づき説明</p>
伊藤会長	<p>第二次可児市都市計画マスタープランの改訂についてということで、インター周辺の工業団地への切り替えとそれに伴う用途の変更ということが主になっているかと思う。様々な経緯を説明いただいたが、これらのことを踏まえてご質問やご意見をいただきたい。</p>
黒見委員	<p>パブリックコメントにかけるということであるが、その際に市民に示される資料は何を考えているのか。改訂された冊子のみか。</p>
日比野都市計画課長	<p>具体的な資料は何かということか。</p>
黒見委員	<p>パブリックコメントに際して意見を求められるという事だが、何に対しての意見を求めるのか。</p>
日比野都市計画課長	<p>今回のパブリックコメントの目的はマスタープランの変更ということになる。先程の企業誘致課の説明は若干踏み込んだ説明になっているが、パブリックコメントについてはマスタープランの変更についてご意見をいただくことになる。</p>
黒見委員	<p>マスタープランがこのように改訂されますという事だけを示すのか、その改訂の経緯も示すのかについてお聞きしたい。</p>
伊藤会長	<p>おそらく、今日の説明を聞いただけでは分かりづらい所があると思う。市民の皆様にしかりと意見を述べていただくために、どのような形のパブコメ資料または筋立てを立てて市民の皆様意見を求めるか、その方法論等についてお尋ねしたいということによろしいか。</p>

黒見委員	<p>一番気になるのは、いろんな報道でご存知かと思うが、これまで商業系として示されていたマスタープランの内容が急に工業系に変わることになる。市民の方からみれば市全体の都市機能の配置を見ている中で急にここが変わるということである。工業系が新たにできることに対しては「需要があるからやるんだな」と理解できるが、そこに対して商業系がくることを期待していた方々にとっては「なぜそこが工業系にかわるのか」ということがなかなか分からないと思う。商業系から工業系に変わることに対しての理由が述べられていないとマスタープランの改訂案と新旧対照表を出されてもどうしてそうなっているのかが分からず、意見が言えないと思う。そのあたりについてはどのように考えているかお聞かせいただきたい。</p>
日比野都市計画課長	<p>今考えている資料は、協議資料1の要旨、2の新旧対照表、3のマスタープランの改訂案を考えている。</p> <p>そもそも商業系を工業系に変えるための説明がもう少し必要ではないか。ということではよろしいか。</p>
黒見委員	<p>用途を変えるということは簡単に変えることはできるが、それまでの可児市のまちづくりの計画が急に変わるわけなので、どうして変わるのかということは市として説明をしなければならないと思う。そのあたりの説明が、工業団地を作ることに対してはあるが、商業系でなくなる、なくなっても可児市のまちづくりの方向性は変わらないという説明はない。このようなことが示されないと、どこかの企業が手を挙げたから計画を変えますという見方をされてしまうのではないかと。そうなってしまうと都市計画のマスタープランの位置づけが弱すぎるのではないかと感じてしまう。</p>
日比野都市計画課長	<p>ありがとうございます。</p> <p>都市計画課、企業誘致課を含め、検討していきたいと思う。</p>
倉内委員	<p>もともと、都市計画というのは長期間をみながら広いネットワークあるいは全体の面的な議論をしている。そう考えた時、おそらく商業地域が工業に変わるということは大きな変化であると思う。その経緯ということも大事であるが、その大きく変わるタイミングで周囲がそのままではよいのかという検討、チェックは必要であると考え</p>

	<p>られる。「新旧対照表でピンクの商業系が青の工業系になりました」だけでなく、その周りに大きな影響はないのかという検討を行い、問題があるとするれば周囲もそれに合わせて変更するような議論がないと少し乱暴ではないかと懸念している。</p> <p>また、改訂というタイミングであるが、出来上がってから 10 年の計画のうち 6 年目になる。資料を作って改訂するときには、そこまで分かっている情報を持ってアップデートをするものではないか。今回必要な所だけを改訂し、人口推計は平成 22 年のものをそのまま載せてしまうなど、計画策定から 6 年間で起こったことを顧みないことは乱暴に感じる。</p> <p>計画期間が終わったら、この 10 年でやりたかったことができたかの振り返りを行うと思うが、できなかったことがあった際、4 年前の改訂の段階で分かっていたとなった時に、改訂のタイミングで検討しておかなかったのかという指摘が起こると思う。</p> <p>現状のチェック、これまでのおさらいはやっておくべきではないか。</p>
日比野都市計画課長	<p>ありがとうございます。</p> <p>お話しをいただいたことについて、庁内でも議論があったが、なかなか事細かに 6 年間の検証をしつつ、今の工業団地の事業を進めていくということになると、ほぼ全体的な見直しのようなことになってしまうと想定された為、今回は工業団地に的を絞らせていただいで改訂をさせていただくこととした経緯がある。ご理解いただければと思う。</p>
倉内委員	<p>確かにそうなると思うが、逆に今回のように大きな変化があるのであれば、勇気をもってやるべきではないかと私自身は感じた。その先の可児の計画という意味ではよりよいものになるのではないかと考えている。</p>
伊藤会長	<p>ありがとうございます。意見ということではよろしいか。</p>
倉内委員	<p>はい。審議会としてもこのまま目をつぶって、そのままでいいのかという事だと思う。審議しないといけない立場として計画期間終了までこのままいくのか、状況が変わっている可能性があるならしっかり検証した方がいいのかを考えられるかという事だと思う。</p>

伊藤会長	事務局に対してということでもあるし、委員の皆さんに対して今のようなご意見についてどうお考えかということもあるかと思うので、忌憚のないご意見をいただきたい。
加藤委員	<p>商業から工業にということであったが、実際に人口減少している中で、総合計画では10万人台から9万人台への推移と聞いているが、本当にそうなのか、人口の見直しを含めて考えられないか。</p> <p>商業系は可児市でもかなりお店が閉店している。商業系が今まで通りで本当によいのか考えた上で、現状では工業に特化していくという構成を考えたほうがいい。可児市の存続の問題があるので、商業も考えていかなければいけないと思うが、税金のことも考えなければならない。どこの市町村でも同じような問題があり、シビアに考えている市町村もある。</p> <p>可児市は人口減少についてどのように考えているのか。団地が空き家になっていることもある。可児市の現状を踏まえて市民の方々にご理解いただけるような形でパブリックコメントを実施されるといいと思う。</p>
亀谷委員	客観的にみて、可児市が商業という拠点で地域を活性化していく、簡単に言えばオーバーストアであるかどうかということの指数や現状を市から示し、現状を踏まえた上での工業への転換であるなどのコンセプトを説明すると分かりやすいのではないか。
奥村委員	<p>この改訂案のとおり改訂するということによいか。</p> <p>そういうことであれば、「花フェスタ記念公園」という言葉が多く出てきているが、令和3年度に書面で名称の変更に対して承認をしているので変更していただきたい。平成表記も令和に直すべきではないか。</p> <p>私も可児市民として20年近く見ているが、この場所は大手企業が出店するという事で地域の皆さんが誘致したいという意向があったが計画が流れてしまった。交通の便がいいからいい所にしようと、ホテルなどの建設がされないようになど手を打ちながら、地域の皆さんが団結して可児市の発展のためにも地域の財産の有効活用をうまくやりたいと考えてきたところである。その地域の皆さんを近くで見て来ている市民としては、「簡単に変えてもいいのか」ではなく、有効利用として将来を見据えて考えると、商業では難しい</p>

<p>伊藤会長</p>	<p>ので工業系、生産業や運輸業などを考えていくことになると思う。可児市の命運がかかった案件であるため、地元住民としては理解していただきたい。良い企業が来てほしい、早く改訂をと思っている。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>黒見委員の意見の中にもあったが、地元の方々の思いが積み重なって変えてほしいという思いがここに結集しているということだろう。その過程や思いというものが他の市民の皆さん、全体に共有できるような形で提供していかないと、責任を持った意見を発言しにくいだろう。パブリックコメントにあたって、経緯をしっかりとご理解いただける形で資料作成なり伝え方をしていただきたい。事務局にはご配慮いただきたい。</p> <p>倉内委員より周辺についても考えるべきではないかという事と、変化していく時代の中で都市マスの在り方をどう合意を得ながら変換していくかという仕組みが今はできてないだろうと思う。それには色々な問題があるかと思うが、柔軟に考えていく必要があるのではないか。順次ご検討いただきたいと思う。</p>
<p>渡辺(仁)委員</p>	<p>合意形成について、学識の委員からご指摘の中にあつた、計画が後なのかという大切な点は、今後大きなことをする中で、受け止め、考えていくべきことなのではないかと思う。</p> <p>一点申し添えさせていただくと、可児御嵩インターチェンジ工業団地を議会側が承認する際に一番議論になったことは、こんなコロナの最中にとということであつたと思う。その議論を進めていく中で、庁内あるいは議会側との合意形成の中で一丸となつてやっていこうとなつた経緯もある。皆さんのご協力のもと進めていきたい。</p> <p>こういった問題はこれからも出てくると思うが、それについては、事務局や審議会の委員の皆さんのご協力によって進めていくことだと思う。今聞いたご意見は気が付かなかつたなという意見が多くありがたいことだと思った。</p>
<p>奥村委員</p>	<p>パブリックコメントではないが、可児市の都市計画ということについて、可児市はまちが広見を中心とした円状の丘陵地に住宅ができて人口が10万人になっている。隣の多治見市などは中心市街地が大きくなってどんどん郊外に住宅ができていくが、可児市の場合はドーナツ状の円が先にできているので、中心地に空地や田んぼがあ</p>

<p>伊藤会長</p>	<p>る状態である。今、家が建ち始めているが、まちの成り立ちがちょっと違うのではないかと思っている。</p> <p>そういった土地で都市計画をみた時に、帷子地区や桜ヶ丘地区と東西に分かれた地区を結ぶ道路網が非常に弱い。国や県の道路は早めに整備されるが、肝心な生活道路や東西南北を連結させるような道路が弱いというところを非常に気にしている。ぜひ可児市の特徴を持った都市計画を考えていただきたい。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>そういう想いを抱いている方がたくさんいらっしゃるだろうということだろうと思う。順次、市が決めることができる都市計画の中に反映をさせていく、県や国に対して要望していく所に盛り込んでいただくこと、将来の可児像のようなものを議論しながら合意形成を図っていくということで都市計画を進めていくという仕組みを強くしていくことを含んでいるということではないかと思う。</p> <p>今日は協議事項ということだったが、マスタープランの改訂についてお示しいただき、意見を頂戴したところである。出た意見としては、パブリックコメントについては市民の皆さんに分かりやすく経緯などを含めながら説明する方法を検討いただきたい。</p> <p>今回の改訂だけでなく、今後の都市マスの改訂も順次課題に上がってくると思われる。今日ご指摘いただいた事項も踏まえながら都市マスの在り方や可児市の都市像と言ったことを含め、都市計画がより良い方向に進んでいくよう議論を進めていく。そういった流れを事務局として作っていただきたい。というご要望ではないかと思う。</p>
<p>菱川委員</p>	<p>事務局に伺いたい。説明の中で、工業団地の中に農地が一カ所ある。この農地の取得はできるのか、このままなのか。計画を遂行するにあたって問題にならないか。</p>
<p>小池企業誘致課長</p>	<p>計画地の真ん中に農地が残っている。これが今後の計画を進める上で問題にならないかという事だが、計画を進める当初、地権者が約100名程度いらっしゃった。地域説明や個別説明を重ねる中で、最終的にここの地権者の方については土地の買い取りについて、ご理解を得ることができなかった。粘り強く交渉を続けたが、ご自身で農地として土地利用をしていきたいという思いがあり、契約までに</p>

菱川委員	<p>至らなかったということである。</p> <p>確かにこの先農地が残ってしまうと、工業団地の整備ももちろんだが、農地として維持していく部分についても色々な不具合が出てくることは重々承知している。残った農地についても十分保全、活用できるように手当をしていきながら計画を進めていく。</p> <p>田んぼ一つあると、水路や水の出入りを考えなければいけない。立地的に悪く、整備も一気に平らにできないと思われる。</p> <p>ちょうど真ん中にあるということが気になった。</p>
伊藤会長	<p>そういった心配の声があるということ。今後こういった形が良いのかはここで決める話ではないが、ご配慮いただくということになるかと思う。</p> <p>それでは、本日の協議事項について、改訂の内容については皆さんからご意見はなかったのでこのような形で進めていくということが良いかと思う。パブリックコメントへのかけ方については、先ほどご意見があったとおりが配慮いただきたい。</p> <p>この件については2月には諮問案件として挙がってくるということになる。</p> <p>本日の議題は以上となる。進行を事務局へお返りする。</p>
事務局	<p>貴重な意見をいただきありがとうございました。</p> <p>本日いただいたご意見やご指摘は持ち帰り検討させていただく。</p>
林建設部長	<p>閉会に際しあいさつ</p> <p>【都市計画審議会閉会 午後4時00分】</p>